

- 問1 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。 (2017年 京都府公立入試 類似)
1. ほたてがい 2. まだい 3. さけ 4. かつお
- 問2 九州地方の北部に位置し、九州地方において最も人口が多い県の県庁所在地である都市として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 福岡市 2. 鹿児島市 3. 北九州市 4. 熊本市
- 問3 九州の西側の海上から、長崎県付近を経て日本海側へと北上する海流があります。この海流の名称として正しいものはどれですか。 (2022年 群馬県公立入試 類似)
1. 親潮（千島海流） 2. 対馬海流 3. リマン海流 4. 黒潮（日本海流）
- 問4 九州地方南部では畜産が盛んであり、全国の産出額上位10府県のうち多くを九州の県が占めています。このように、南九州で大規模な水田稲作ではなく、畜産や畑作が発達した主な地理的要因として正しいものはどれですか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 年間を通じて降水量が極めて少なく、乾燥した気候が家畜の飼育に最適であったため。 2. 冬の寒さが非常に厳しく、夏の間しか作物を育てられないため、通年で行える畜産を選択したため。 3. 水はけが良すぎるシラス台地が広がっており、水の確保が難しく水田開発に制約があったため。 4. 平地がほとんど存在せず、傾斜地を利用した放牧しか農業の手段がなかったため。
- 問5 宮崎県と鹿児島県にまたがる地域において、大規模な台地が形成された主な要因として正しいものはどれか。 (2018年 岩手県公立入試 類似)
1. 過去の火山活動にともなう噴出物が、地表を厚く覆ったため。 2. 海岸沿いの平地が波の浸食を受け、平坦な地形が取り残されたため。 3. 冬の季節風によって運ばれた黄砂が、長期間にわたって堆積したため。 4. 河川が運んできた土砂が河口付近に堆積し、地殻変動で隆起したため。
- 問6 九州南部の鹿児島県などに広く分布する、過去の巨大噴火による火山灰などの噴出物が厚く積み重なって形成された台地を何と呼びますか。 (2020年 広島県公立入試 類似)
1. 扇状地 2. 三角州 3. シラス台地 4. カルデラ
- 問7 九州地方の各県を比較した統計において、小麦の収穫量が約8,800トン、携帯電話の加入数が約1,114,000件である一方、温泉の源泉数が4,342箇所と他県に比べて突出して多い特徴を持つ県はどこですか。 (2019年 徳島県公立入試 類似)
1. 佐賀県 2. 大分県 3. 愛知県 4. 沖縄県
- 問8 日本の各地方における農業産出額の品目別割合に関する説明として、九州地方の特徴を正しく述べているものを次から選びなさい。 (2025年 岩手県公立入試 類似)
1. 大都市への出荷に向けた近郊農業が盛んであり、野菜の占める割合が最も高い。 2. 他の地方と比べて米の占める割合が非常に高く、全体の半数近くを占めている。 3. みかんやりんごなどの栽培が盛んであり、果実の占める割合が他の品目より突出して高い。 4. 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。
- 問9 日本の諸地域の統計において、海岸線の延長が2665kmと非常に長く、かつ隣接する府県の数が「1」となっている県について述べた文として、地理的な背景を踏まえた正しいものはどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 九州地方の中央部に位置し、周囲を海に囲まれた内陸県のような性質を持つためである。 2. 屋久島や奄美群島などの多くの離島を抱えているため、海岸線が長くなっている。 3. 県全体が広大な平野で構成されており、海に面した部分が多いためである。 4. リアス海岸が発達しているため、隣接する県の数が極端に少なくなっている。
- 問10 阿蘇山などで見られる「カルデラ」が形成される仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 愛知県公立入試 類似)
1. 波の浸食作用によって海岸の岩場が削られ、さらに地盤の沈降によって複雑に入り組んだ地形として形成される。 2. 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。 3. 火山から吹き出した火山灰や軽石が、長年にわたって周辺の平地に厚く降り積もることで形成される。 4. 地殻変動によって山脈の一部が激しく隆起し、その周囲が相対的に低くなることで形成される。
- 問11 九州地方の各県を比較した統計において、山地の割合が約7割と高く、かつ豚の飼育頭数が約79万6900頭という、近隣の県に比べても圧倒的に多い数値を示している県があります。この県の産業的特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 秋田県公立入試 類似)
1. 冷涼な気候を活かした高原野菜の栽培が盛んで、主に夏季の都市部へのお荷を行っている。 2. リアス海岸を利用した真珠の養殖が産業の中心であり、世界的な輸出拠点となっている。 3. シラス台地などの地理的条件を背景に、豚や肉用牛、鶏などの畜産業が非常に盛んである。 4. 広大な平野を活用した大規模な稲作が行われ、東北地方に匹敵する米の生産量を誇っている。
- 問12 沖縄県は九州の南方に位置し、日本の他の地方と比較して緯度が低いという特徴があります。このような地理的条件によってもたらされる「年間を通じて温暖な気候」や「美しいサンゴ礁」といった自然環境を最大限に活用し、県の経済において最も高い割合を占めている産業はどれですか。 (2026年 福岡県公立入試 類似)
1. 重化学工業や加工貿易を主体とする第二次産業 2. 先端技術の開発や情報通信に特化した第四次産業 3. 観光業やサービス業を主体とする第三次産業 4. 農業や漁業を主体とする第一次産業
- 問13 2020年の統計において、岡山県、愛媛県、沖縄県、宮崎県の4県を比較したとき、製造品出荷額よりも農業産出額の多さが際立ち、特に肉用牛や豚、鶏などの畜産業が盛んで農業産出額において高い割合を占めている九州地方の県はどこですか。 (2023年 沖縄県公立入試 類似)
1. 岡山県 2. 愛媛県 3. 宮崎県 4. 沖縄県
- 問14 ある都道府県の農業統計において、年間の農業産出額が約4,772億円に達し、その部門別割合を見ると畜産が65.4%と極めて高い数値を示しています。また、1農家当たりの耕地面積は約2.37ヘクタールであり、肉用牛の飼育が特に盛んなこの都道府県はどこですか。 (2024年 山口県公立入試 類似)
1. 北海道 2. 宮崎県 3. 鹿児島県 4. 富山県

答え合わせ・解説

問1	答え 2 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせで生産することで、高い生産額を維持しています。
問2	答え 1 福岡市	九州地方の北部に位置する福岡市は、福岡県の県庁所在地です。福岡県は九州地方で最大の人口を抱える県であり、その中心都市である福岡市は、商業やサービス業が高度に集積した地方中枢都市として発展しています。
問3	答え 2 対馬海流	この海流は、黒潮（日本海流）から分かれて日本海へと流れ込む暖流です。九州の西側を通り、南西から北東方向へ向かって北上することで、日本海側の地域の気候や漁業に大きな影響を与えています。
問4	答え 3 水はけが良すぎるシラス台地が広がっており、水の確保が難しく水田開発に制約があったため。	南九州の広範囲を覆うシラス台地は、火山由来の堆積物でできており、非常に水はけが良いという特性を持っています。このため、大量の水を蓄える必要がある水田稲作には適していませんでした。その代わり、乾燥に強い作物を作る畑作や、その飼料を活用できる肉用牛・豚などの飼育が地域の主要な産業として定着しました。
問5	答え 1 過去の火山活動にともなう噴出物が、地表を厚く覆ったため。	この地域には、始良カルデラなどの巨大な火山活動の痕跡があり、そこから噴出した大量の火砕流堆積物（シラス）が元の地形を埋め立てるようして平坦な台地を作り出しました。これが現在の九州南部の景観を決定づける要因となっています。
問6	答え 3 シラス台地	九州南部には、火山の噴出物が堆積してできた広大な台地が広がっています。この地形は水分を保持しにくく水はけが非常に良すぎるため、古くから稲作には不向きとされてきました。その一方で、現代ではその広大な面積を活かした大規模な畑作や畜産業の基盤となっています。
問7	答え 2 大分県	九州地方には火山が多く、その恩恵として温泉資源が豊富に存在します。特に大分県は、別府や由布院といった全国的に有名な温泉地を擁しており、源泉数および湧出量において全国1位の規模を誇っています。この特徴から、観光業が地域の重要な産業となっています。
問8	答え 4 肉用牛や豚などの飼育が盛んであり、品目別割合の中で畜産の占める割合が最も高い。	九州地方は鹿児島県や宮崎県などを中心に肉用牛、豚、鶏などの飼育が盛んであり、農業産出額の品目別割合では畜産が最も高い割合を占めています。なお、米の割合が高いのは東北地方、野菜の割合が高いのは関東地方の特徴となります。
問9	答え 2 屋久島や奄美群島などの多くの離島を抱えているため、海岸線が長くなっている。	鹿児島県は、薩摩半島・大隅半島という2つの大きな半島のほかに、多くの有人・無人の離島を抱えています。海岸線の長さは島が多いほど増える傾向にあるため、このような統計結果となります。また、地理的な位置関係から、陸上で境界を接しているのは宮崎県のみという特徴があります。リアス海岸は海岸線を複雑にしますが、それが隣接県数の少なさ（1県）に直結する理由ではありません。
問10	答え 2 大規模な噴火によって地下のマグマが放出され、空洞になった山頂部が崩れ落ちることで形成される。	カルデラはスペイン語で「鍋」を意味し、噴火によって地下のマグマが大量に失われた際、支えを失った火山の中央部が陥没（沈み込むこと）してできた地形です。火山灰が積もってできるのはシラス台地、波の浸食と沈水でできるのはリアス海岸であり、カルデラの形成過程とは異なります。
問11	答え 3 シラス台地などの地理的条件を背景に、豚や肉用牛、鶏などの畜産業が非常に盛んである。	宮崎県は、平地が少ない一方で、火山灰が堆積してできたシラス台地などの水持ちが悪い土地が広がっています。こうした土地は稲作には不向きであったため、古くから畜産業が発展してきました。現在では豚だけでなく、肉用牛やブロイラー（鶏）の生産においても全国有数の農業県として知られています。
問12	答え 3 観光業やサービス業を主体とする第三次産業	沖縄県は低緯度に位置するため、冬でも気温が下がりにくく、一年を通して温暖な気候に恵まれています。この気候やサンゴ礁が広がる海などの豊かな自然資源は、観光客を引きつける大きな魅力となっています。その結果、宿泊業や飲食業、小売業などのサービス業を含む第三次産業が、県内の就業者数や生産額において極めて高い比率を占める産業構造となっています。
問13	答え 3 宮崎県	宮崎県は、シラス台地などの地形的特性を活かした畑作や畜産業が非常に盛んな県です。農業産出額に占める畜産の割合が全国的に見ても非常に高く、豚や肉用牛、ブロイラーの生産量は日本トップクラスです。選択肢にある他の県と比較すると、岡山県は製造業の規模が大きく、愛媛県は果樹（みかん）、沖縄県は亜熱帯農業といった異なる特徴を持っています。
問14	答え 3 鹿児島県	農業産出額の過半数を畜産が占めている点は、鹿児島県農業の最大の特徴です。北海道も大規模な農業を行っていますが、1農家当たりの耕地面積や、シラス台地という地形的特徴に基づいた畜産への特化という文脈から鹿児島県が判断されます。肉用牛、豚、鶏のいずれも全国トップクラスの生産量を維持しています。